

東北管区行政評価局

先輩からのメッセージ

p.1~4 東北管内勤務職員

p.5~9 本省・他部局勤務職員

(経歴等は令和5年3月末時点の情報です)



(主な経歴)

平成28年4月	東北管区行政評価局採用
30年4月	本省行政評価局総務課
31年4月	本省行政評価局評価監視官室
令和 2年4月	現職

現場でなければ分からないことがある

秋田行政監視行政相談センター 行政監視行政相談課

西村 昌樹 (Nishimura Masaki)

当局に興味を持っていただいた皆さんはじめまして。

当局の魅力は国の行政機関の中でも、様々な行政分野に接することができる多様性があることだと感じています。調査業務や相談業務では、デスクワークをするだけではなく、時には実際に現場を見に行ったり、民間事業者に生の声を聞きに行ったりします。そうすることで、職場で仕事をしているだけでは分からない様々なものを見たり聞いたりすることができます。私のような好奇心や興味関心が多岐にわたる人には、とてもおすすめの職場です。

【印象に残っているテーマ】

今まで「ため池」、「下請取引の適正化」、「買物弱者対策」などのテーマに携わってきましたが、一番印象に残っているのは、「ため池」の調査です。

このテーマは採用1年目の駆け出しのときに携わったものですが、当時の上司には、調査をする「ため池」選定や関係機関に話を聞いた内容の取りまとめなど様々な仕事を任せてもらい、責任を感じながらも同時に大変やりがいのある仕事であると実感しました。

その調査の際に、「ため池」の管理者から聞いた無断で侵入する釣り人に困っている話や、あぜ道を越えてようやくたどり着いた「ため池」が荒れていたことなど今でも印象に残って覚えていることが多くあります。

また、職場の人数は少ないですが、上司や同僚と気軽にコミュニケーションがとれる風通しの良い職場だと思います。疑問や意見があれば遠慮せずにつけられますし、日常のたわいもない話題で盛り上がることもできる和気藹々とした雰囲気です。

Private Time

基本的に家で過ごしていますが、たまにカメラを持って出かけます。最近は大潟村の「桜・菜の花ロード」に花見をしに行き、写真も撮ってきました。夏はどこに出かけようか絶賛検討中です。

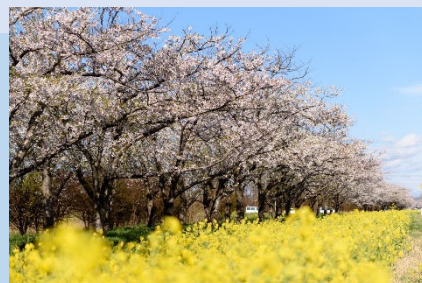
Q&A

Q：今後はどのような仕事に挑戦したいですか？

A：今までやったことがない仕事に挑戦してみたいという気持ちもあります。

これまで取り組んできた行政運営に関する調査、行政相談、会計（予算執行）などの仕事も無駄なものではなく、今の自分の仕事に対する考え方・取り組み方に大きな影響を与えていると感じています。

そのほか、総務省の他部局や他省庁の仕事にも少し興味があります。





感謝の気持ちを忘れずに

岩手行政監視行政相談センター 行政監視行政相談課
松浦 佳穂 (Matsuura Kaho)

【行政相談委員の支援業務】

現在は、主に行政相談委員に関わる業務を担当しており、相談委員支援、各種会議、イベント等の行事の準備・調整などを行っています。

センターは職員数が少ないため、行事等は担当にかかわらず、職員全員で行っています。本年度は、コロナ禍で初めて2年ぶりに県内の相談委員が一堂に会する全体会議を開催しました。行事等に参加する相談委員がいきいきとしている姿をみると、やりがいを感じます。

センターは本省などと比べて、相談委員と直接関わる機会が多く、このような現場との距離の近さはセンター勤務の魅力だと感じています。

本来は相談委員を支援する立場ですが、相談委員一人一人の活動やニーズ、世の中の動き等に応じて支援の形を変えていく中で、学ばせていただくことの方が多いと感じています。

これからも相談委員の皆さんが活動しやすいよう、常に感謝の気持ちを忘れず、相談委員支援や会議などを通じて相談委員の皆さんが求めている具体的な要望や困っていることなどに耳を傾けるよう努めていこうと思っています。

(主な経歴)

平成29年4月 東北管区行政評価局採用
30年4月 本省行政評価局企画課
31年4月 本省行政評価局評価監視官室
令和 2年4月 現職

Q&A

Q：学生時代にこれはやっておいた方が良いというものがありますか？

A：思う存分、気の向くままに学生生活を楽しんでください。時間とお金の許す限り無条件にいろいろなことに挑戦できる貴重な時間です。

Q：仕事をする上で心掛けていることは何ですか？

A：思考停止に陥る前に、すぐ相談することです。1人で抱え込んでいても良い考えは降ってきません。

Private
Time

おうち時間を楽しむことも多いですが、せっかく転勤の機会なので、その土地ならではの美味しいものを求めて街中をぶらぶら散策しています。市場などで季節ごとの特産品を探すのも楽しいです。





新しいことに取り組める職場

東北管区行政評価局 第2評価監視官室
佐藤 浩一郎 (Sato Koichiro)

公務員の仕事にどんなイメージを抱きますか？決まった仕事を繰り返しているイメージでしょうか？我々、行政評価局の仕事はその真逆、大きく分けて行政運営に関する調査と行政相談がありますが、いずれも常に新しいことに取り組める職場です。

【行政運営に関する調査】

行政運営に関する調査においては、1年を通して別々の数テーマの調査を行うため、常に新しいことに触れ、考え、調べることができます。この仕事を通して、生活保護の実態把握のために、当該業務を担当している市職員の方から生の声を聞いたり、がん対策について調査するために、病院に行きどのような取組をしているか尋ねたり、いろいろな分野の見識を得られる点が面白い仕事です。

【行政相談】

また、自由に仕事ができる一面もあります。私が令和3年度に岩手センターで行政相談の仕事をしていたとき、行政相談をPRするために、YouTubeに動画広告を掲載しました。東北では前例がないにも関わらず、上司に対して、やってみたいですよとお話したところ、二つ返事でOKがもらえ実現しました。しっかりとした目的があれば、前例のない仕事でもやりたいことができる職場です。当局に少しでも興味をお持ちになられた方は、是非、業務説明会に来てみてはいかがでしょうか。

(主な経歴)

平成24年4月 東北管区行政評価局採用
29年4月 内閣府大臣官房公文書管理課
31年4月 岩手行政監視行政相談センター
令和 4年4月 現職

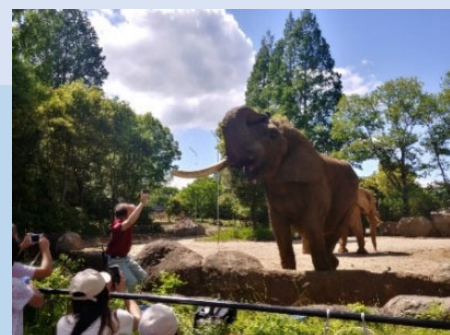
Q&A

Q：入省してからの失敗談はありますか？

A：本省で勤務していた際、あまりの路線数の多さから上りと下りの電車を間違えてしまい、他管区の行政評価局へ出張するのに遅刻したことがあります。本省や他管区の職員の方がすごく気を遣ってくださり当時は居たたまれない気持ちになりましたが、今となってはとても良い思い出です。

Private Time

休日は年甲斐もなく動物園と水族館に行っています。飼育員のガイドを聞いて、知らなかった動物の生態や、飼育員ならではの話を聞いたり、疑問に思ったことは何でも質問できたりするため充実していて楽しいです。特に、愛らしいペンギンやイルカの姿などは、日が暮れるまで眺めていられます。





(経歴)

令和3年4月 東北管区行政評価局採用

4年4月 現職

東北管区行政評価局 第5 評価監視官室 渡邊 大智 (Watanabe Daichi)

「行政の調査を仕事にする公務員なんているんだ！」

私がこのように衝撃を受けたのは、1次試験後に偶然視聴した、オンラインの官庁合同業務説明会でのことでした。今ここで行政評価局を知ったあなたも手遅れということはありません！

【印象に残っている業務】

まずはご参考までに実際に勤務してみて特に印象に残っていることを紹介させていただきます。ズバリ、それは入省直後のOJT中に「生活困窮者の自立支援対策に関する行政評価・監視」に取り組んだことです。初めての調査だということもあり、調査先の地方自治体や社会福祉協議会が具体的にどのようなことに困っているのかなど、初めは全くイメージができませんでした。しかし、現場の生の声を聞いていくことで、少しずつ理解が深まっていったのを覚えています。また、自分が携わった調査が、間接的に、誰かが生きていく上での何らかの助けになるのかもしれないと思うと、これ以上のやりがいはないのではないかと感じました。

また、当局ではテレワークも積極的に行っており、長距離通勤の私も定期的にテレワークを取り入れています。また、勤務先が基本的には東北6県の各県庁所在地であることも隠れた魅力だと思います。少しでも当局に興味をわいた方は、業務説明会、ひいては官庁訪問にもぜひお越しください。お待ちしております。

Private Time

私には休日ならではの大切な時間が二つあります。

一つ目は仲間と趣味のジャグリングを練習する時間です。

二つ目は家族との時間です。大変少数派だと思いますが、私は実家から通勤しています。平日は特に祖父母と話す時間がないので、休日はTV番組を見ながら話せる、のどかで貴重な時間になっています。

Q&A

Q：仕事をする上で心掛けていることは何ですか？

A：どんなことにも目的があると思います。仕事をする上でも目的とその最適な手段は何かという視点を忘れないことを心掛けています。

Q：今までに経験した大変な業務は何ですか？

A：電話を掛けることに強い苦手意識がありましたが、事前に内容を先輩職員にチェックしていただくことで苦手意識が薄れていきました。





第三者的な立場からの視点

行政評価局 政策評価課客観性担保評価推進室

佐藤 翔 (Sato Sho)

(主な経歴)

平成21年4月 東北管区行政評価局採用
 28年4月 東北管区行政評価局評価監視官室
 31年4月 東北管区行政評価局総務課
 令和 3年4月 現職

【公共事業評価の「点検」とは】

行政評価局の資料や説明会などで、「第三者的な立場」というフレーズを耳にしたことや、目にしたことはありますか？私の部署は、公共事業評価の「点検」を担当しています。「点検」と強調しているのは、公共事業評価を直接行うのではなく、各省が行った評価を「第三者的な立場」から点検しているからです。公共事業は、国民生活や社会経済に与える影響が大きいことなどから、事前評価等の実施が義務付けられています。行政評価局は、この点検によって第三者の目を入れることで、部署名のとおりに「客観性」を「担保」しています。点検や各省の努力もあり、公共事業評価も昔に比べレベルアップしました。一方で、インフラの老朽化問題が待ったなしとなり、公共事業評価は何ができるかがトピックになっています。その検討のため、各省にアンケートを実施することになり、設計、依頼、集計などを担当しました。道路や水道など、各省が行う事業が異なる中、「聞くべきことは何か」、「各省からどうやって回答を引き出すか」といったことを整理するのは難しいことでしたが、課内や各省担当者の声も聴きつつ取り組んでいました。

行政評価局の仕事は、上の例のように自分たちだけで完結するということはあまりなく、法令や事業などへの幅広い関心・理解が求められます。言い換えると、いろんなことを見たり考えたりするのが好きな方にとっては、楽しみを見出しやすいでしょう。

パンフレットなども目を通していただき、興味を持っていただけたら幸いです。

Private Time

東北にいた頃から、カフェやファミレスのモーニングを頂きつつ読書やネットサーフィンをするのが趣味でしたが、東京ではまさによりどりみどりで。

都区内は駐輪場の整備（2時間無料！）が進んでいて、休日はモーニングの食べ歩きやポタリングを楽しんでいます。

Q&A

Q：ワークライフバランスを実現させるために心掛けていることはありますか？

A：チームメンバーとの間で、「やること」をクリアにします。そうすることで残業まで要すかなども分かりやすくなるため、仕事のペースを作ることができます。

Q：今後はどのような仕事に挑戦したいですか？

A：政策の効果検証です。行政評価局職員として、今後のカギとなる取組だと考えています。





子育て中でも働きやすい職場

行政評価局 評価監視官（連携調査、環境等担当）室
鷲見 沙矢香（Sumi Sayaka）

私は採用後、仙台、岩手で勤務し、その後、本省行政評価局で勤務しています。現在の部署では、行政運営に関する調査に従事しています。

【仕事と育児の両立】

本省に来てからは、行政運営に関する調査の設計から結果公表までの一連の業務に携わりました。調査設計に当たっては、調査に関連する法令・制度等について一から勉強し、相手省庁や地方公共団体等へのヒアリング結果なども踏まえ、調査事項等を上司や班員と議論しながら検討しました。調査では、新幹線などで遠方までヒアリングに行き、実際に現場（公園、農場等）も見に行きました。また、全国の地方支分部局から報告される調査結果の取りまとめに当たっては、調査結果を整理・分析し、時には相手省庁と折衝するなど、調査結果の公表までの業務に携わりました。調査業務は、非常にやりがいがありますし、テーマごとに一から制度を勉強するため、様々なことに興味を持てる方にとって、非常に楽しい仕事だと感じています。

働きやすさに関しては、周りにも子育てをしながら働いている方が多いことや、職場の上司や同僚の理解もあり、子育て中でも働きやすい職場だと感じています。子育てしながら仕事をするに当たっては、子供の看病等で急に抜けても大丈夫なように、今何の仕事をしているのか周りに共有するよう気を付けています。私自身は1児の親であり、現在は、育児時間を取得しながら働いていますが、家庭の事情に合わせてテレワークを利用するなど、柔軟な働き方ができているように思います。

Private Time

休日は家族で公園へ出かけることが多いです。最近子供が非常に活発になってきたため、一緒になって遊具で遊んだり、広場を走り回ったりしています。子供が赤ちゃんの頃より出かけられる範囲が広がってきたため、近所の色々な公園を開拓するのが楽しみになっています。

（主な経歴）

平成27年4月 東北管区行政評価局採用
 28年4月 岩手行政評価事務所
 （現：岩手行政監視行政相談センター）
 30年4月 本省行政評価局評価監視官室
 （令和2年6月～令和3年4月 産休・育休）
 令和 3年4月 現職

Q&A

Q：どのような時にやりがいを感じますか？

A：自身が関わった調査の結果が取りまとめられ、相手省庁へ勧告、通知等がなされ、その後、実際に改善に至ると、大変やりがいを感じます。

Q：ワークライフバランスを実現させるために心掛けていることはありますか？

A：定時退庁するために、仕事のスケジュールを逆算し、計画的に業務を進めるようにしています。





行政サービスの向上に向けて

行政評価局 評価監視官（復興、国土交通担当）室
白瀬 達也(Shirase Tatsuya)

【行政運営に関する調査】

私は、現在、本省行政評価局評価監視官（復興、国土交通担当）室に勤務しており、国土交通省等が行う政策・業務について調査を行う仕事に従事しています。

当室では、道路や鉄道などのインフラのほか、災害に対する備えといった防災等の行政運営に関する調査も多く実施しています。具体的には、火山に関する防災対策や、災害時に救援ルートを開ける道路啓開の取組に関する調査等を行っているところです。

また、上記の調査後は、最終的に調査結果を公表するとともに、関係府省庁に対して改善の必要性等を勧告する場合があります。この場合、一定期間経過後に改善状況のフォローアップを行い、しっかりと改善措置が講じられているかまで確認しています。例えば、令和元年度に勧告した発災後の住居等に関する調査では、損壊した住宅への応急修理という制度が、支援の対象期間が短期間となっており、住まいの再建に支障を来していたことから、関係府省庁に勧告を行いました。これを踏まえ、令和3年度に、設定期間が従前1か月であったところ、3か月等に見直されるなどの改善が図られることになりました。このように、業務を通じて課題の解決に役に立てたことは、強く印象に残っています。

以上のように、幅広い行政分野に関わることができるとともに、より良い行政の実現を目指していく点が行政評価局の特徴の一つであると思いますので、興味を持った方は是非説明会にご参加いただければと思います。

（主な経歴）

平成27年4月 東北管区行政評価局採用
30年4月 東北管区行政評価局行政相談課
令和 2年4月 行政管理局管理官室
3年4月 現職

Q&A

Q：学生時代にこれはやっておいた方が良いというものはありませんか？

A：長期滞在の旅行に行くことや、社会人になってからも続けられる趣味などを見つけることができれば、これから充実した社会人生活を迎えることができると思います。

Q：一緒に働くならどのような人が良いですか？

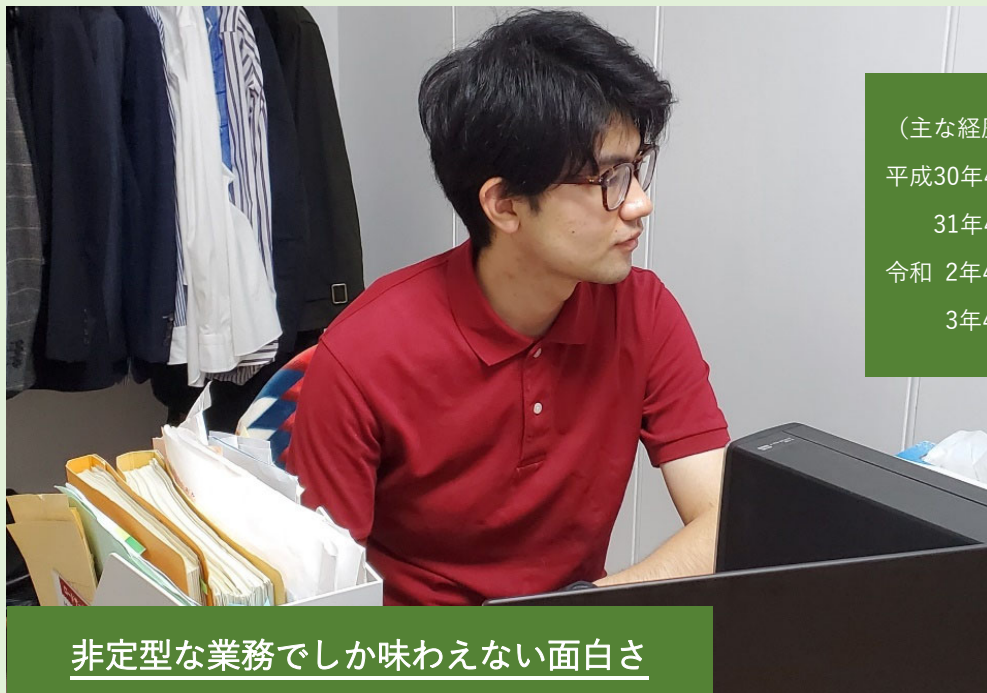
A：相手の立場に立って考えることができ、そして、何事にも前向きで誠実に取り組める人であれば、職場の周りの人たちは助かると思います。

Private Time

休日や仕事が早く終わった日などは、近場の商店街や公園、河川敷などを散策することで、気分転換を図っていました。

勤務中は、パソコンなど近くのものを見ていることが多いので、川沿いなどを散策すると、遠くの景色まで見渡すことができ、良いリフレッシュになっていると感じています。





非定型な業務でしか味わえない面白さ

行政評価局 総務課

大根原 光 (Onehara Hikaru)

【本省での経理業務】

現在、私は本省行政評価局総務課に所属しており、経理担当として主に本省行政評価局の予算執行管理を行っています。経理業務を経験することで、行政評価局予算や会計法など調査業務や相談業務では接することがほとんどない分野に詳しくなることができています。入省当初は、調査業務だけやりたいなと思っていましたが、現在では、幅広い業務経験を積むことの大切さを身にしみて感じています。

私が入省時からやりたかった業務は調査業務で、より良い行政のために調査を実施し、改善につなげていく点が魅力であり、やりがいの一つだと思っています。また、実際に調査業務を行っていた際に、調査とは直接関係しないものの、担当者として課題に感じていることをお聞きすることもあり、個人的には現場の生の声を聞いた上で、どう改善できるかを考え、職員同士で検討していく過程に面白さを感じています。

【ワークライフバランスの実現】

現在、テレワークは週に2・3回の頻度で実施しています。当局では、業務の電子化が進んでいて、テレワークでも業務効率が落ちることがないため、コロナ感染対策関係なしに、テレワークを日常的に実施しやすい環境にあると思います。個人的には、テレワークを活用することでの通勤疲労軽減はもちろんですが、家では愛犬が待っているので、業務終了後、帰りを待たせることなく散歩に連れて行き、私自身もリフレッシュできるのがとても大きなポイントです笑

(主な経歴)

平成30年4月 東北管区行政評価局採用
31年4月 東北管区行政評価局評価監視官室
令和 2年4月 東北管区行政評価局総務課
3年4月 現職

Q&A

Q：今までに経験した大変な業務は何ですか？

A：現在担当している経理業務が一番大変でした。初めは前任者等に何度も教えてもらいながら対応していました。関係する法律や規定、マニュアルを勉強し、なぜその手続が必要なのかを理解することで、経理業務の理解を深め、今では適切に対応できるようになったと思っています。何事も根本的なところを理解することが重要ですね。

Private Time

休日は、妻が休みの日には一緒に買い物、愛犬を車に乗って大きな公園に行くことが多いです。また、読書もしますが、ドラゴン桜の性格診断(拡散型)のとおり、その時々になんか気になった本を気分次第で読んだりしています。





出向時代の経験を生かして

行政管理局 企画調整課

生地 冬実 (Oiji Fuyumi)

【復興局での勤務】

これまで、管区局、事務所（現：センター）、本省、福島復興局（出向）を経験しました。この職場の中でも、動きの多い方ではないかと思えます。印象深いのは、出向していた福島復興局時代です。

当時は、観光事業の進捗管理、震災発災後10年行事の企画運営、交付金のメニュー新設に向けた関係各所との調整など、幅広い業務に同時並行で取り組んでいました。

また、ラインではなく個人で動くことが多かったこともあり、判断力やスピード感、マルチタスクへの対応力を身に付けられたと感じています。

この経験は、現在の業務につながっているように思います。私が現在所属している行政管理局の総務係では、給与、勤務時間、人事異動・評価や文書管理等に関する照会対応や書類作成、関係者との調整を行っています。職員の業務遂行をサポートするためのありとあらゆる庶務を担っているため、毎日目の回るような忙しさですが、何とかこなせているのは、上司や部下の支えのほか、一見異なるようにみえる、これまでの様々な部署での経験のおかげだと思えます。

また、最近、事務所時代に調査業務でご一緒した他管区ご出身の方や、復興局時代にやりとりしていた他省庁の方と現在の業務の関係で再会する機会がありました。様々な部署で経験を積む中で、人のご縁を感じる機会も多く、そんなところもこの職場の面白いところかもしれません。今これを読んでいる皆さんとも、どこかで一緒に働ける日を楽しみにしています！

（主な経歴）

平成26年4月 東北管区行政評価局採用
31年4月 福島復興局
令和 3年4月 東北管区行政評価局評価監視官室
3年9月 現職

Q&A

Q：一緒に働くならどのような人が良いですか？

A：物事を柔軟に考えられて、チャレンジ精神を持った人。行政の改善に取り組む当局だからこそ、私たち自身が前例や形式にとらわれず、新しいやり方や視点を取り入れていくことが重要だと思います。

Q：学生時代にこれはやっておいた方が良いというものがありますか？

A：旅行やボランティアなど、時間が必要な経験。コロナに気を付けながら、学生生活を楽しんでくださいね。

Private
Time

おいしいお店の開拓、昔ながらの銭湯めぐり、公園や神社仏閣で四季を感じたりすることでリフレッシュを図っています。定期的にジムで筋トレもしていますが、最近は摂取カロリーが消費カロリーを上回りがちで焦っています…。

写真はおすすめのハンバーガー@池袋です。

